

部局名	健康福祉部	所属名	健康福祉課	所属長名	樺田 高雄	電話	483-1151 内線2210
-----	-------	-----	-------	------	-------	----	-----------------

## 1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	3223	事務事業名称	急病センター事業				短縮コード	経常	3223	臨時		
予算区分	会計	01	一般会計	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	05	急病センター費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等		八千代市急病センターの設置及び管理に関する条例							
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
<p>急病センターは、医科が毎日午後9時から午前0時まで、歯科が日曜・祝日の午前9時から正午まで診療を行い、休日・夜間の初期救急医療を提供している。昭和53年4月1日に休日夜間急病センターとして、医師会、薬剤師会、民間医療機関の協力によって(土曜・休日・年末年始の午後9時から午前0時まで)開設された。昭和55年4月1日からは、365日の通年診療を開始した。また、昭和57年7月4日からは、休日の歯科診療を開始した。そして、八千代市の救急医療をはじめとする医療課題への対応を図る目的で本市が誘致した、東京女子医科大学附属八千代医療センターが平成18年12月8日に開院した。</p>												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱(章)	01	健康福祉都市をめざして					
平成18年12月8日に東京女子医科大学附属八千代医療センターが開院したことにより、本市の医療提供体制は充実が図られた。医療センターは、24時間365日体制の救急医療が提供され、3次救急医療機関に準じた役割を担うものであるが、小児救急医療に関しては、初期救急医療を専門に行い、地域の小児科医が参加・協働する「やちよ夜間小児急病センター」が医療センター内に設置された。これに伴い、八千代市急病センターの医科は平成18年12月7日で、また歯科についても休日在宅当番医制への移行により平成19年3月末で廃止した。					大項目(節)	01	保健・医療					
					中項目	02	医療					
					小項目(施策)	02	救急医療体制の整備・充実					
					細項目	01	休日・夜間診療体制の整備					
						02	救急医療体制の整備					
								実施計画の計画事業				
計画事業の位置付けの有無			<input type="checkbox"/>	計画事業期間	～		計画事業費	千円				

## 2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	救急診療を必要とする市民						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成18年度に実際に行ったこと: 医師等への報酬の支払い、消耗品・薬剤等の購入、業務委託契約及び委託料の支払い、テレフォン案内の登録、連絡・庶務。急病センター廃止に伴う周知、各種手続、関係機関との協議・調整。						
	※平成19年度に計画していること: 平成19年度から「地域医療推進事業」と統合し、「地域医療対策事業」として事業を行う。夜間急病待機医・休日当番医の業務委託契約、委託料の支払い及びテレフォン案内・HP等の登録・更新。急病センター廃止後の残務整理。						
意図 (何を狙っているのか)	市民が休日・夜間の緊急時に適切な医療を受けることができる。						
結果 (どんな結果に結びつけるのか)	緊急時に適切な医療を受けることができる救急医療体制を確保し、市民の健康と安全を保持する。						
区分	指標	市民	単位	17年度	18年度		19年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	市民	人	184,979	184,979	186,650	
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	診療日数(医科・歯科延数)	日	436	436	322	
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1	受診者数	人	3,581	3,000	2,093	
	指標2						
	指標3						
上位成果指標	指標1	地域医療体制が整っていると感じている市民の割合	%			44.2	
	指標2	市外医療機関への搬送率	%			31.6	
	指標3	覚地から医療機関へ収容するまでの平均時間	分			31	

コード	3223	事務事業名称	急病センター事業		所属名	健康福祉課	
	単位	17年度		18年度		19年度	
		実績		計画		計画	
事業費(A)	財源内訳	国	千円	0	0		
		県	千円	0	0		
		地方債	千円	0	0		
		一般財源	千円	90,364	110,217	78,454	0
		その他	千円	30,445	11,386	17,507	0
主な事業費の内訳		夜間救急・休日在宅・歯科二次・事務委託料 69,455		委託料 70,650 報酬 43,905 医薬材料費 1,896 使用料及び賃借料 1,478		委託料 62,043 報酬 30,778 使用料及び賃借料 784 光熱水費 520	
19年度から「地域医療対策事業」に統合。							
人件費(B)		千円	9,901.7	9,049.7	11,161.9	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	130,710.7	130,652.7	107,122.9	0	0

### 3. 事務事業の評価(SEE)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている	休日・夜間における緊急時の医療を確保し、本市救急医療体制の一翼を担うものである。			
		<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある				
		<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している	東京女子医科大学附属八千代医療センターの開院などに伴い、急病センターを平成19年3月末をもって廃止した。本市の救急医療体制は充実が図られたところではあるが、さらに永続的な体制の構築に向けた対策が必要である。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある	時間外における医療提供体制の維持には、不採算の要素が多く、単に民営化で目的を達成することは困難である。市民が安心して暮らすことのできるまちづくりを進めるためにも、永続的な救急医療体制の確保は行政の責務である。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい	本事業においては、休日・夜間の救急医療体制の確保を目指してきた結果、平成18年12月に医療センターが開院したことなどによって、本市の救急医療体制は充実が図られたところではあるが、より一層救急医療体制の充実を図るためにも、今後は類似事業との統合を進める。				
	<input type="checkbox"/> 見直す必要がある					
	<input type="checkbox"/> 評価対象外事項					
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある	本市の医療課題に対応する地域の中核病院として、東京女子医科大学附属八千代医療センターが平成18年12月8日に開院し、24時間365日体制の救急医療が提供されることとなったほか、医療センター内には小児の初期救急医療を専門に行う「やちよ夜間小児急病センター」が設置された。その結果、市が設置・運営してきた急病センターの医科を平成18年12月7日に、さらに休日在宅当番医制への移行から歯科は平成19年3月末で廃止した。以上のように、本市の救急医療体制は医療センターの開院に伴って大きく変化したことから、本事業と関連の強い「地域医療推進事業」を平成19年度から統合し、「地域医療対策事業」を新設することとなった。			
		<input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある				
		<input checked="" type="checkbox"/> 両方可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 可能性がない				
		<input type="checkbox"/> 民間委託等				
⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 臨時的任用職員等の活用	類似事務事業名称	1	地域医療推進事業	実施主体(所管部署)	健康福祉課
	<input type="checkbox"/> IT化等業務プロセスの見直し					
	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し					
<input checked="" type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し	2					
<input type="checkbox"/> 上記以外の方法						
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> ある					
	<input type="checkbox"/> ない					

コード	3223	事務事業名称	急病センター事業			所属名	健康福祉課																				
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input checked="" type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他			東京女子医科大学附属八千代医療センター開院によって、本市の救急医療体制は充実が図られたが、今後は高齢化等による医療需要の変化や市民の医療に対するニーズを考慮の上、より効果的な救急医療体制の構築を目指していく。																					
			<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続																								
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経費</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>不変</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不変</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>					経費			削減	不変	増加	成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	不変	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	本事業は平成19年度から地域医療推進事業と統合するが、医療センターの開院などに伴って急病センターが廃止となったことは、救急医療体制を悪化させることなく、今後の経費に削減が図られる結果となった。	
		経費																									
		削減	不変	増加																							
成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	不変	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
小児医療など専門性の求められる救急医療への要望が増加している。	

所属長コメント	東京女子医科大学附属八千代医療センターの開設に伴い、小児救急に係る診療環境を充実させ、より効果的な救急医療体制の構築を目指していきたい。	
評価調整委員会意見	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続	効果的な地域医療体制構築を目的として「地域医療推進事業」との統合を平成19年度より実施し、「地域医療対策事業」を新設することを支持